

## 私たちが掲げる2つの理念

人と人とのネットワークを大切にし、  
社会を豊かにする会社であり続けます。

独自の卓越した技術とソリューションを提供し、  
世界に貢献します。

## 私たちの中核技術と事業

弊社の中核技術は、IoTの基盤技術である「フレキシブル・センサデバイス」技術、「特定用途向きプロセッサの最適化設計技術」です。さらに、医療・ヘルスケアへの、ITおよびVLSI技術の応用に関しても、豊富な経験があります。

これらの技術を応用したのが、以下の事業3本柱です。

多数のセンサノードを持つIoTに適した通信インフラLPWANシステムの提供

iBeaconとスマートフォンを用いたインドア・ナビゲーション応用システムの提供

近い将来に必要なスマート・センサエッジ・システムの提供

例えば、GPSが使えない地下街などで威力を発揮するインドア・ナビゲーション応用システム。スマホと連動した多言語情報提供システム。お年寄りや子どもの安全を図る見守りシステム。心不全の前兆を検出する医療情報システム。スマート・センサエッジ・システムにより低消費電力化を実現した「次世代IoTシステム」……多様な活用が可能です。

## 本社・支社と提携企業

東京本社 〒105-0014 東京都港区芝2-5-19 ITOビル5階  
TEL 03-6803-4317 FAX 03-6803-4318

京都支社 〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町93  
京都リサーチパーク 4号館 3階 BIZ NEXT  
TEL・FAX 075-315-9921

当社は、エイシップ・ソリューションズ（株）、および、中国の上海扶芯信息科技有限公司などの企業と協力し、IoTのためのデバイスと応用システムの開発と販売を行っています。

詳しくは公式サイトをご覧ください

<https://techsor.co.jp>

お問い合わせ

メール [info@techsor.co.jp](mailto:info@techsor.co.jp)

お電話 03-6803-4317 10:00-17:00

より便利に  
より斬新に  
よりスマートに





## ZETA 規格を用いた IoT 向けの LPWAN 通信インフラ

### 新しい LPWAN の規格 ZETA

ZiFiSense社が提唱しているLPWAN (Low Power Wide Area Network) の規格であるZETAは、他のLPWAN の規格 (LoRa、Sigfox、NB-IoT) と比較して、

- ・超狭帯域 (UNB: Ultra Narrow Band) による多チャンネルでの通信が可能
- ・Meshネットワークによる広域での分散アクセスが可能
- ・双方向での低消費電力通信が可能

などの特長を持つ、IoT向けの通信インフラとして最適な技術です。ZETAは、NB-IoTの約1/20、LoRaの約1/5の初期費用でシステム構築が可能です。また、LTEなどのキャリアを基本にしたシステムと比較して、一桁少ないランニングコストで運用可能です。

### ZETA を用いた安心安全の見守りシステム

GPS、iBeacon、ZETAを組み合わせることにより、お年寄りやお子様の広域での見守りシステムが低コストで実現できます。このシステムを用いることにより、たとえば介護福祉施設内での入居者の位置の把握が可能になります。また、お子様の登下校時の位置の把握も可能になり、安心安全を保障するスマート社会の実現に一歩近づけます。

## インドア・ナビゲーション応用システム

### GPSより高精度なナビゲーション・システム

GPSが使えない商業施設、地下街、病院、工場、駐車場などでも威力を発揮する、次世代の高精度ナビゲーション・システムです。iBeaconを用いるJoySuch社独自の測位システムは、ターゲットの位置をGPSよりも一桁上の精度で測定可能です。

### 多言語での情報提供が可能なショッピング・アプリ

iBeaconを用いたナビゲーション・システムとスマートフォンとをコラボさせた、多言語での情報提供を行うショッピング・アプリを提供しています。急増する外国人観光客や買物客向けのビジネスに威力を発揮します。

### 展示会での来場者動向解析システム

従来は展示会の参加者の情報は、展示会が終わってから来場者数などを集計していました。しかし、このシステムを用いることにより、各ブースにいつ何人の参加者が来訪していたか、来訪者がどのブースに何分間滞在していたか、どのような経路で移動したかなど、従来は収集できなかった来場者の動向に関する詳細な情報がリアルタイムで収集できます。また、ヒートマップの表示などによる情報の可視化にも対応しています。

## フレキシブル・センサデバイス

フレキシブル・センサデバイスは、有機材料を用いた柔らかいシートの上に印刷技術によって製造されるセンサデバイスです。PETなどの生体適合性の高いシートを用いることによって、医療・ヘルスケアに適した生体情報センシング・システムの実現が可能になります。弊社では、大阪府立大学の竹井准教授との共同研究を通じて、温度、圧力などのセンシングが行えるフレキシブル・デバイスを開発しています。

大阪府立大と共同開発中の圧力センサアレイ

## スマート・センサエッジ・システム

スマート・センサエッジ・システムは、賢い(スマートな)情報の処理が行えるIoTのエッジ(端末)側のシステムです。このようなシステムを用いると、エッジ側で収集される膨大な量の情報をそのままクラウド上のサーバーに転送しないで、賢く処理された結果のみを転送すれば良いことになります。また、必要であればエッジ側で判断をした結果に基づいてエッジに接続された機器の制御なども行えます。これにより、通信ネットワークのトラフィックとサーバーの負荷を軽減できます。また、応答性能の高いエッジシステムが実現できます。

### 開発事例

スマート・センサエッジ・システムのコンセプトのもとになっている生体情報センシング・システムの開発事例としては、大阪大学、東京工業大学、奈良県立医大が共同開発した膀胱内圧センシング・システムがあります(写真)。これは、前立腺肥大などの泌尿器系疾患の検査用機器として開発が行われました。弊社CTOの今井も大阪大学在職中にこのプロジェクトのリーダーの一人として参画していました。



あっ!GPSが使えない!

スマホ、  
外国語で表示  
してほしいのに!

おじいちゃんはどこにいるのかな?

患者に  
ストレスを与えない  
素材がほしい

生体適合性が高く  
医療・ヘルスケアに使える  
センサデバイスが欲しい



もっと知的  
合理的にデータを  
やりとりできないか

世界最先端の  
IoTインフラを  
導入したい



# 技術を世界へ、未来へ

## 社長挨拶

## 先端技術で新しい世界を創造する 私たちの夢と挑戦

### 株式会社テクサー

代表取締役 CEO 朱 強 (しゅ きょう)



2016年10月21日。私たちは、株式会社テクサー (Techsor Inc.) を起業しました。テクサーとはテクノロジーとセンサ、2つの単語を組み合わせた造語です。

2016年、日本から中国に戻った時、私は、スマホアプリを使ったビジネスモデルの成長スピードに驚かされました。「時代が、大きく変わろうとしている」。それを強く感じました。かつてインターネットが普及し始めた時よりも、はるかに速いスピードで、世の中が進化しています。センサ、LPWA (Low Power Wide Area) ネットワーク技術、ビッグデータ解析、人工知能・・・次から次へと夢の技術が生まれ、私たちの社会に大きな変革の波を引き起こしています。

「モノや人からデータを収集し、データを分析・処理して、その結果を現実の世界へフィードバックする」という一連のプロセスで、ビジネスや社会に価値をもたらすIoT技術が、世の中を大きく変える力を持っています。

私たちは、独自のセンサ技術、特定応用分野向きプロセッサ (ASIP) 技術、そしてネットワーク技術を最大限に活かし、IoT技術を利用して、インバウンド観光客への多言語での情報提供サービスや、医療やヘルスケアを高度化するサービスなどの分野で、「人と人」「人とモノ」「モノとモノ」とのネットワークを構築。人々に利便性を提供すると同時に、社会にも高い価値をもたらす斬新なビジネススタイルを確立します。

皆様のご支援とご鞭撻を賜りたく、お願い申し上げます。